

よい会社をつくろう。よい経営者になろう。よい経営環境をつくろう。

2018

7月号

vol.624

月刊

同友

MONTHLY COMMUNICATION MAGAZINE DOYU

特集

第56回定期総会
2018年度運動方針
同友会三つの目的の総合実践



表紙の写真にスマホやタブレットをかざすと



AR動画が見られます!

ARアプリ「COCOAR2」のダウンロード方法はP2をご覧ください

福岡同友会へ Message

共同通信社
福岡支社編集部長

酒田 英紀 氏



今年2月、福岡県中小企業家同友会と在福岡の報道各社の懇談会があり、様々な業種の経営者の方から現場のリアルなお話をうかがう機会がありました。不勉強で大変恥ずかしいのですが、このときに中小企業憲章の存在を初めて知り、「中小企業は、経済を牽引する力であり、社会の主役である」との言葉に深く深くうなずいた次第です。

私は報道の世界で主に「社会部畑」と呼ばれる事件・事故、災害、裁判などの分野取材してきました。駆け出しの頃、中小企業の密集地として知られる大阪府東大阪市で地元の町工場の実情に触れる機会があり、一つ一つの現場にマイクロからマクロまであらゆる社会情勢、社会問題が凝縮していることに驚かされました。

福岡県中小企業家同友会のみなさまとお話をしている、東大阪担当時代の記憶が鮮やかによみがえるような感覚を味わいました。常に現場を間近で見ている経営者のお話はどれも具体的、文句なしにおもしろい。現代社会が抱える高齢化、働き手不足などの問題、グローバル化、規制緩和…どれ一つとして現場と無関係ではなく、すべてつながっているのだと強く感じました。

社会の主役である中小企業には、社会の「今」が全部あるのだと思います。現実と向き合い、個別具体的な課題に日々対応している経営者のお話はニュースのネタの宝庫です。深いお話をぜひまたうかがわせてください。

朝日新聞 西部本社報道センター
経済担当部長

小山田 研慈 氏



とてもいい印象をもっている。福岡県中小企業家同友会についてだ。

昨年10月に西部本社版で「人手不足」についての記事を載せた。配送料の値上げや受注断念に追い込まれた実態が盛り込まれた。「よく取材できたね」と記者に聞いたら、福岡の同友会事務局に経営者を紹介してもらったという。親切な対応に驚いた。こういう取材はアポとりがとても難しい。あてはないし、だいたい断られるものだ。

この記者は昨春まで大阪勤務。大阪の同友会にもぜひぶん助けてもらったという。中小企業の団体はいろいろあるが、同友会は記者と勉強会をやるなど熱心だとか。「会員が何をやっているか把握して対応が早い」と教えてくれた。

そのうち、2月に報道各社の経済部長と福岡の同友会との懇親会が開かれた。代表理事の田浦通さんらみな話がとても上手。社員に気持ちよく働いてもらうための独自の取り組みなど、貴重な話もきけた。何より自信ややる気を感じた。

朝日新聞には中小企業専門の記者がいる。中島隆編集委員(54)だ。経営者を主人公にして波瀾万丈の人生物語にまとめる。読者の反響はものすごい。「経営者の生き様がみえるし、肉声がきける。大企業の取材ではこうはいかない」と中島は話す。「日本の企業の99.7%が中小企業で、雇用の7割を支えている」というのが中島の口癖だ。

一般紙の経済報道は大企業中心だった。取材が楽だからという面もある。一方で、各紙とも似たり寄ったりだ。新聞が読まれないのはそういう事情もあるだろう。同友会にヒントをいただきながら、おっと目を引く報道を考えていきたい。

同友会 3つの目的

よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して、企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

よい経営者になろう

同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

今月の表紙 博多祇園山笠

撮影・文／株式会社ココスイメージ 富谷 正弘(玄海支部)
表紙写真は平成29年度「第60回博多祇園山笠写真コンテスト」の推薦および福岡県知事賞・入賞作品です



7月1日に行われる当番町お汐井とり

起源

博多祇園山笠の起源には諸説があります。櫛田神社の社伝によると、祭神の一つ祇園大神(素戔嗚尊)を勧請したのが天慶四(941)年。すでに京都では現在の祇園祭につながる御霊会が行われており、勧請間もなく始まったという説。また、文献的初見である「九州軍記」に基づいて永享四(1432)年起源説もあります。

博多祇園山笠振興会は一般に広く知られている承天寺の開祖・聖一國師(円爾)が仁治二(1241)年、疫病除去のため施餓鬼棚に乗って祈禱水(甘露水)をまいたのが始まりという説を取っています。当時は神仏混淆の時代で、これが災厄除去の祇園信仰と結びついて山笠神事として発展したと言われています。

夏の風物詩「博多祇園山笠」

760余年の伝統を誇る「博多祇園山笠」は、福岡市博多区のおもに博多部(那珂川と御笠川間の区域)で7月に行われる祭で、博多の総鎮守・櫛田神社にまつられる素戔嗚尊(祇園宮)に対して奉納される神事であり、国の重要無形民俗文化財でもあります。

7月15日午前4時59分、大太鼓の合図とともに一番山笠から順に「櫛田入り」し、清道旗を回ったところで、いったん止まり、「祝いめでたーのー」と七流を代表して「博多祝い唄」を大合唱します。再び息を吹き出した山笠は、夜明けの博多の街に駆けだしていきます。



7月13日に行われる集団山見せ

町の組織「流」の起源

現在の山笠の基となっている「流」ができたのは、豊臣秀吉による天正15(1587)年の「太閤町割り」(または「博多町割り」)が起源と言われています。

鎌倉時代、室町時代と、博多の町は大陸貿易の基地として栄えました。秀吉が町割りをするきっかけとなったのは、当時、大陸貿易の基地として大いに栄えていた博多の支配権をめぐって様々な大名達が博多の町を戦場として戦った結果、博多の町が焼け野原になったためでした。中でも天正4年(1576年)、島津義久が博多を撤退する際に町に火を放って全市を焼き払って薩摩に逃走。これを追いかけた秀吉が島津を降参させて博多に戻り、博多の復興に乗り出し、その手始めが区画整理としての町割りでした。

太閤町割りは、まず、区画整理の基準となる筋を決めることから始められ、太宰府の方角を流れの上手にして基準線の方角を決め、これが今の太博通りの博多小学校横当たり。現在は「旧下市小路」という石碑が建てられており、博多大商人はこの町筋に集っていました。

東は御笠川、西は博多川を境に、市街は十町(約1キロ)四方と定め、幹線道路を東西に3本、南北に4本走らせ、その一区画を「流(ながれ)」と呼びました。この「流」が博多祇園山笠のグループ単位の発祥となり、現在は、千代流・恵比須流・土居流・大黒流・東流・中洲流・西流の七流となっています。

16ページに続きます

表紙の写真にスマホやタブレットをかざすと
AR動画が見れます!

①ARアプリ「COCOAR2」をスマホやタブレット端末にダウンロード(無料)
App Store
Google Play Store

COCOAR2 検索

②「COCOAR2」を起動し、表紙をスキャンし、読み込んでみましょう。認識すると自動でコンテンツが流れます。

SCAN!!

記念講演

5月16日に開催された定期総会にて坂本光司氏(人を大切にしている経営学会会長・元法政大学教授)の記念講演が行われました。著書の「日本でいちばん大切にしたい会社」はベストセラー。皆さんの中にも読まれた方は多いのではないのでしょうか。「元気な会社はここが違う」五方良しの経営が会社をのばす」と題された講演のダイジェストをお届けします。

文章▼菅原 弘(菅原海事務所・東支部)
写真▼富谷正弘(株)コスイメージ・玄海支部)

坂本光司氏の言う

「元気な会社」とは
一体どのような

会社なのだろうか？

元気な会社とは

①社員の命を守っている会社

会社の業績で社員を解雇する会社はいけません。社員を路頭に迷わせてはいけません。それなら社長が辞めるべきです。世間では働き方改革が論じられていますが、あるべき数字に異議を唱えたいと思います。人が幸せを感じるのには「家族団らん」の時間です。目的は「人を幸せにすること」。業績は手段であり、人がコストになってはいけません。

②社員が維持・増加している会社

雇用の維持、即ち保証しなければいけません。

③会社に関係する人々が幸せを実感している会社

社員・取引先・顧客・地域の4者に満足度に関するアンケートを取りましょう。社員満足度は「離職率」に反映されます。いい離職は定年・結婚で、悪

④黒字経営・納税経営を維持している会社

納税は世間の通信簿です。平時に2年、3年と赤字なのは問題があります。

⑤社会貢献をしている会社

例えば、障がい者雇用している会社が挙げられます。現在障がい者の雇用率2.2%が義務付けられていますが、私は4%を提言しています。知的障がい・身体障がいに加え、精神障がいが増えてきています。これは後天性のものであり、会社が心を踏みこむ経営をしてはいないか考える必要があります。

元気な会社は ここが違う

違う

元気な会社の事例

フジイコーポレーション(株)〈新潟〉

この会社の社員の遺書にこう書いてありました。「もし私が死んだら、棺の中に私が着ていた会社の制服を一緒に納めてほしい。そして霊柩車はいつも出勤する道順で行き、会社の前で一度止まってから火葬場に向かってほしい。」

また社員の親族が多く勤めています。これは愛する人が安心して働いてほしいという証拠なのです。さらに、玄関に近くの障がい者施設の人が描いた絵画が飾ってあったのを見つけました。月に一度社員食堂を開放してその施設の商品を販売しているそうです。

元気な会社の共通経営学

- ① やり方重視経営 ▶ あり方重視経営
- ② 業績重視経営 ▶ 幸せ重視経営
- ③ 急成長・急拡大経営 ▶ 安定成長経営・年輪経営
- ④ 景気・流行期待経営 ▶ 本物経営
- ⑤ 依存・追随経営 ▶ 自立・自活経営、独立経営
- ⑥ 価格競争経営 ▶ 非価格競争経営
- ⑦ アンバランス経営 ▶ バランス経営
- ⑧ ワンマン経営 ▶ 全員参加経営
- ⑨ 上意下達の経営 ▶ 下意上達経営
- ⑩ 閉鎖的経営 ▶ 開放的経営
- ⑪ 管理的経営 ▶ 家族的経営
- ⑫ 対応型経営 ▶ 提案型経営
- ⑬ 情報受信重視経営 ▶ 情報発信重視経営
- ⑭ 単機能経営 ▶ 三機能経営
(研究機能・生産機能・販売機能)
- ⑮ 他人資本依存経営 ▶ 自己資本経営
- ⑯ 短期重視経営 ▶ 長期重視経営
- ⑰ 小商圏経営 ▶ 超広域商圏経営
- ⑱ 成果主義重視経営 ▶ 年功序列重視経営
- ⑲ 個人戦重視経営 ▶ チーム戦重視経営
- ⑳ 公私混同経営 ▶ 公私区分経営
- ㉑ 即戦力・中途採用重視経営 ▶ 新卒採用重視経営
- ㉒ 一方よし経営 ▶ 五方よし経営

五方良しの経営とは

- ① 社員とその家族を大切にしている経営
- ② 社外社員とその家族を大切にしている経営
- ③ 現在顧客と未来顧客を大切にしている経営
- ④ 地域住民とりわけ社会的弱者を大切にしている経営
- ⑤ 株主や関係機関を大切にしている経営



坂本 光司 氏

1947年静岡県生まれ、1970年法政大学経営学部卒。静岡文化芸術大学文化政策学部・同大学院教授等を経て現職。ほかに、人を大切にしている経営学会会長、日本でいちばん大切にしたい会社大賞審査委員長等、国・県・市町村の公務も多数務める。専門は、中小企業経営論、地域経済論、地域産業論。これまでに8,000社以上の企業等を訪問し、調査・アドバイスを行う。著書「日本でいちばん大切にしたい会社」はベストセラー。

活動総括

福岡国際会議場で開催された第56回定期総会。新しい1年のスタートとして多くの方にご参加いただきました。ここでは前年度の1年間の活動をまとめました。前進したものの、課題の残ったものもありますが、この1年間を振り返り、更なる飛躍を目指しましょう。

前年度の成果

企業づくり

- 経営指針の成文化企業が増えている。新たな取り組みとして日帰りセミナーを開催。企業変革支援プログラムも活用者が増えている。海外視察を実施し交流を深める委員会もできた。
- 財務・労務など経営の基本を学ぶため、数字の勉強会を開催している例もあった。
- バリアフリー委員会では特別支援学校との交流を図り関係が強化され、経営労働委員会労務管理部では労務管理に関するセミナーを実施した。ソーシャルビジネス委員会では「働き方改革」に関する例会を多く開催している。
- 共育委員会では、「社会人例会」「リーダー共育研修」を開催し、共同求人委員会においては、九州情報大学との関係づくりが強まり、例年キャリア講座を開催している。
- 多くの支部で財務体質強化をテーマにした例会など開かれ、多額の経費削減に成功した会員もっている。
- 九州北部豪雨を教訓にいかに関の備えが必要かを会員に実例をもとに取り上げた。

地域づくり

- 田川支部で愛媛県松山市、東温市の視察を行い、キャリア教育事例と愛媛大学でのインターシップ事例を学ぶことができた。
- 大学、高校との連携で、インターシップ受入会員が増えつつある。
- エネルギーフットに関する取り組みをする会員企業が出てきた。
- 福岡県商工部へ振興条例を活かす提言を説明し、次に繋がる意見交換ができた。
- 筑豊地区で条例の活用に向けた取り組みが具体的に進んでいる。
- 県内8信金業務提携ローンの商品概要ができ、同友会としての要望を提出した。
- 福岡県へ「福岡県中小企業政策に関する連携と協働の提言」を提出し、小川知事と意見交換を行った。その後、記者発表を行った。毎日新聞、朝日新聞をはじめ、新聞各社からの取材要請に応え、会員企業取材に協力。連載記事も掲載中。

同友会づくり

- 毎月知る会を開催し連続ゲスト入会に繋がっている（福友支部、東支部、博多支部）。またのおがた支部、東支部は今年目標会勢を達成した。
- ホームページのブログや支部機関誌を活用。
- 91名の会勢が増加。メンター制度導入の支部も。
- 支部長を対象とした研修会を開催。役員研修大学も6回開催。
- 月刊同友やチラシを金融機関等の各窓口へ届けた。
- ラジオ放送や新聞紙面に活動記事を頻りに投稿し、対外広報を強化した。
- 会員データベースが完成。運用開始となった。

主な項目を取り上げています

今年度に向けて

- 経営指針の実践は、全県上げての参加促進が必要である。また、企業変革支援プログラムの活用も支部例会や研究会等で推進する必要がある。
- 「付加価値を高める企業づくり」や「新たな仕事づくり」への取り組みがまだ少ないため推進する必要がある。
- 労働環境の整備や採用教育問題への取り組みは、現在一番の経営課題である人材不足対策にもなるため、推進する必要がある。
- 「お客様と地域に必要とされる企業づくり」や「強い財務基盤を持つ財務体質が強い企業づくり」に関しては、全般的に取り組みが弱いので、会員への啓発が必要である。

- インターシップの重要性が高まり、福岡同友会らしいインターシップを目指す。エネルギーソフトについての学習や具体的な取り組みについて、推進体制を決め、組織的に取り組む。
- 福岡県政策提言を実現していくため、県との協議や具体的な提案を働きかけていく。
- 福岡県内の中小企業振興事務所と関係を強化し、条例制定と条例活用を促進する。
- 信金との提携ローンの商品化し、会員へ告知し、利用促進を図り実績をつくる。
- 景況調査全体リニューアルの検討に入る。マスコミ各社の経済担当部長および経済記者との懇談会を企画および計画をする。

- 全ての活動の良し悪しは役員の資質に依拠する。各組織の階層ごとに研修会や語り部の育成が必要。
- 情報の創造と発信は欠かせない。会内外に向けた情報収集と効果的な発信を強化する必要がある。
- 会員増強は活動活性化のパロメーター。少なくとも20%の会員が関わってもらうためには、役員は会員増強を意識的にリードすることが重要。

中小企業をとりまく情勢の特徴

同友会運動は、長期的な視点に立って同友会理念の実現をめざす運動です。よい会社、よい経営者、よい経営環境の実現を掲げる「同友会三つの目的」を「自主・民主・連帯の精神」でとりくみ、「国民や地域とともに歩む中小企業をめざす」壮大な運動です。

福岡同友会では、日常の活動の中でも、全員で「同友会三つの目的」の唱和からスタートし、常に原点に立ち返ることを通じて、企業づくり、地域づくり、同友会づくりを推進してきました。このような運動・活動を進める上で経営者としてもっとも大切なことのひとつは、「情勢認識」です。

2017年度前半期の活動総括を踏まえ、「情勢認識を深め、自社の経営方針、会の運動方針を策定しよう」として、11月20日に、中同協松井専任講師を迎えて「情勢勉強会」を開催し、2018年度の運動方針策定をすすめ、自社の経営を見つめ直す出発点としてきています。今年度は、その内容から一部抜粋して、紹介します。前提として、なぜ情勢をつかむ必要があるかについては、以下の点が提起されました。

情勢をつかむ大切さ

情勢認識 経済はトレンド、消費はマインド。経済はグローバルになっても市場は常にローカルです。

時代認識 科学的に見る。「心の豊かさ」に応える、時代は量から質へ、モノからコトへ。

歴史認識 さらに環境自体や変化の状態を見るだけでは解決策はでない、原因のない結果はない。



- 経済変化とキャリア教育の方向性を学びました。
- また、北九州地区の「採用共育研究会」では、他県同友会の事例も学びながら、11月には、「中小企業経営者と高校の先生方との意見交換会」が開催されました。
- (5) 会員増強のための動きでは、月刊同友に関係機関より寄稿をいただくことや、作成した同友会チラシを金融機関等に置く取り組み、地域限定ながらFM放送の番組に会員が登場するなど、対外広報を強めました。
 - (6) 2017年4月には、念願の田川に支部ができ、中小企業振興基本条例の振興会議に多くの会員が関わるとともに、日常活動では、人を生かす経営の実践を学び合い、交流し、活気ある支部活動を推進しています。
- 今年度の前進点や到達点をしっかり確認し、課題を明らかにして次年度への活動につなげていきたいと思います。

運動方針

定期総会で発表された次年度のスローガン「同友会三つの目的の総合実践 よい会社、よい経営者、よい経営環境をめざす」。
先行き不透明な厳しい経営環境に対して、もう一度基本の理念に立ち返り、このスローガンを掲げ、前進していきましょう。

同友会三つの目的の総合実践

よい会社 よい経営者 よい経営環境を めざす

地域を担う、 なくてはならない 企業づくりをめざして

世界経済における2018年の経済成長率（IMF）が3・7%と見込まれるなか、英国のEU離脱や難民問題、米国と中国覇権主義の対立、北朝鮮リスクなど不透明性・不安定性が強まりつつあり、「激変への備え」が求められています。一方国内においては、低成長が続くなか個人消費の回復が見通せず、景気の足踏みが続いており、その原因は、大企業における労働生産性や企業業績の伸びに比べて賃金の伸びが低いことなど、再分配システムに問題があるという認識が広がってきています。中小企業においても、一層深刻化する採用難に対する「働き方改革」など労働環境の整備や、多発化する自然災害に対する事業継続が大きなテーマになりつつあり、急速に進展する「第4次産業革命」への対応も大きな課題となってきました。また、2019年の消費税増税や軽減税率導入問題、2025年には5人に1人が75歳以上という「超高齢化社会問題」からの影響にも目を離すことはできません。

ビジョンに基づき、経営指針の成文化と実践運動で成果の見える企業づくりや、今後の重要課題になると思われる付加価値を高める企業づくりなどを推進するとともに、地域づくりにおいては、地域に若者を残し育てる運動を展開するなど、地域との関係づくりを深めています。同友会づくりにおいては、期首会勢より91名増加し仲間づくりが進んでいることや、会員データベースが完成したことにより今後の会員活動支援が強化できること、組織検討プロジェクトを立ち上げ組織の整備を進めていることなど、会員のための同友会づくりが進められています。



企業づくり

経営指針の実践で、 成果の出せる企業づくりを

- 1 「あすなる塾」「経営指針作成2泊3日セミナー」に参加し、社員の夢を実現できる経営指針を作成・実践します。
 - 2 例会やブロック会等で実践の成果を報告します。
 - 3 企業変革支援プログラムの活用を推進し、実践の進捗状況や自社の課題を確認します。
- ### 企業体質の強化をめざして、 付加価値を高める 企業づくりを
- 1 情勢や市場のニーズを捉え、製品やサービスの付加価値を高める仕組みをつくり出します。
 - 2 IT活用や対内外への広報・情報化を駆使することで、業務効率改善、販路開拓、ブランド構築などの企業づくりに取り組みます。

- ### ■創造と変革を続ける企業づくり
- 1 **新たな仕事づくりへの具体的な取り組み**
 - 2 国際化への対応（海外展開、インバウンド等）で、新たな仕事づくりに取り組みます。
 - 3 技術革新（IoT、AI、ICT等）への対応・対策で、業務効率化をはかり自社の強みを

高めるとともに、新たな仕事づくりに取り組みます。

■社員がいきいきと働ける企業づくり

- 2 **労使見解の学びを経営に生かす**
- 1 経営者のあるべき姿勢を問いかけ合い、「労使見解」を自社の経営に活かします。
- 2 経営指針を確立し、社員を雇用して社員をパートナーとして経営を進めていく組織的経営をめざします。
- 3 **快適な職場環境づくりの取り組み**
- 1 社員との信頼関係を構築し「人を生かす経営」を推進するため、時代に合った就業規則の作成や見直しを促進します。
- 2 経営指針に労働環境整備を位置づけ、社員の自主性や創造力を発揮できる企業づくりに取り組みます。
- 3 女性の力を発揮できる企業づくりをすすめることや、障害者問題の関心を深め雇用に取り組むことで、多様な働き方を推進します。

4 採用と教育を一体として 強い体質の企業へ

- 1 人材獲得難の対策として、若者に選ばれる魅力ある企業づくりに取り組み、定期採用をめざします。
- 2 社員教育を企業のための人材育成にとどめず、経営者と社員が共に学び育ち合う活動とします。
- 3 中小企業の魅力や働く喜びを若者に伝える場を

設け、インターシンプなどにも学校とも連携して、地域の育を推進します。

■お客様と地域に必要とされる企業づくり

- 5 **自社が地域社会に果たす役割・使命を明確に**
- 1 市場・顧客の変化の把握と潜在ニーズを追求することで、誰をお客様にするのかを考え、自社の独自の市場・顧客を創造します。
- 2 自社の提供する商品・サービスが、顧客と地域社会に対してどう役立っているのかを理解し、社員と使命感を共有します。
- 6 **地域社会や顧客・取引先からの信頼や期待に高い水準で応える**
- 1 自社の強みと弱みを分析、把握し継続的に改善することで、高い品質の商品・サービスを提供し顧客満足度を高めます。
- 2 コンプライアンス（各種法令を遵守し、社会的規範や企業倫理を守ること）とともに、地球環境問題や地域振興に全社的に取り組みます。

7 財務体質強化に向けた 取り組み

- 1 財務・労務など経営の基本を学び、決算書（BS、PL等）を自分の言葉で説明できる力をつけることや労働法令の遵守など経営者としての基礎力を高めます。
- 2 例会やブロック会等で、会員企業の財務問題にま



地域の力強い発展の担い手として、時代を創る『地域企業』への変革を目指して

- ③ 財務基盤を強化し経営情報の透明性を確保することで、経営者保証を外せる企業をめざします。
- ④ 2018年から2019年にかけて予測される日銀金融緩和と政策の終結による融資困難や、2019年の消費税増税による消費マインドの低下などに備え、資金繰り対策を考えます。

- ⑧ 後継者問題への取り組み強化を
事業承継を学ぶ勉強会を設定し、後継者問題への対応を具体的に取ります。
- ⑨ 企業理念と社内固有の知識や技能を承継するため、経営指針に事業承継計画を位置づけて取ります。

- ⑨ BCP（事業継続計画）をテーマにした学びの場を
災害や事故など不測の事態を想定して事業継続のための対応策を学び、安否確認や緊急連絡体制など具体的な対策を盛り込んだ事業継続計画を作成します。

中小企業振興（基本）条例を生かし、行政・金融機関・他団体と共に、具体的な成果事例を

① 条例を活用した具体的な取り組みを進め、具体的な成果を出していきます。

地域に中小企業の重要性が認識され、地域に若者を残し育てる運動を

① 県内の教育機関や行政機関と連携して、地域に魅力的な中小企業があることを広く伝えます。

- 1 中小企業憲章・条例推進月間の取り組みと憲章の精神を広める運動を
① 6月の中小企業憲章・条例推進月間の取り組みを企画し他団体と共に実施します。
- ② 行政、金融機関、教育機関などに広く呼びかけ運動を推進します。

- ③ 中小企業憲章を社員と共に学び伝えるなど、憲章の精神を広める運動を行います。
- 2 中小企業振興基本条例の推進を
① 中小企業振興基本条例が制定されていない地域は、「調査・条例・振興会議」一体の取り組みなど先進事例に学び、制定に向けて積極的に取り組みます。

- ② 中小企業振興基本条例が制定されている地域は、振興会議を中心に条例の活用に向けて積極的に取り組みます。
- 3 エネルギースフトの学習と実践を
① 全国の実践事例や中同協の学習ハンドブックを活用し、エネルギースフトの考え方を学びます。

- ② エネルギースフトを経営指針に位置づけ、企業づくりや仕事づくりに活かします。
- ③ エネルギーや資源の地域循環など地消地産を意識し、地域づくりや条例推進運動に活かします。

4 金融環境の変化を活かし、金融機関との連携を強化し

① 県内の信用金庫、福岡県信用保証協会、日本政策金融公庫との業務提携を活かし地域ごとに関係を強化して具体的な取り組み事例をつくります。

- ② 「金融仲介機能のベンチマーク」を理解し推進します。
- ③ 「経営者保証のガイドライン」の活用を広げ、活用事例を増やします。
- 5 行政、教育機関との関係づくりと連携を
① 福岡県および県内主要都市の政策担当者定期的に懇談会を実施します。

- ② 福岡県および県内主要都市に対し、憲章の精神に基づいた政策提言を実施します。
- ③ 県内の教育機関や行政と連携して、地域の中小企業の魅力や存在意義が伝わる講義や職場体験などを企画し実施します。
- ④ 大学などと連携し、同友会らしいインターンシップの取り組みを積極的に推進します。

7 会員企業の実態把握と対外広報の強化を

- ① 四半期毎の景況調査を実施、分析し、結果レポートを会内外に広く広報します。
- ② 景況調査の結果レポートの理解を深め、企業づくりや地域づくりに活かします。
- ③ 会員データベースを活用した景況調査にリニューアルし、会員企業の実態を把握します。
- ④ その他必要に応じ緊急調査を実施するなど、

8 「地域経済ビジョン」づくりに向けた学習を

① 地域の未来を見据える「地域経済ビジョン」づくりに向けて、中同協討議資料「中小企業の見地から展望する日本経済ビジョン」（日本経済ビジョン）の学習を深めます。

同友会づくり

企業づくり・地域づくり・同友会づくりを一体として取り組み、同友会理念を実践する企業を全ての地域へ

役員づくりの強化

活力溢れる同友会を推進するために、運動をリードする役員づくりを行います

- ① 支部・地区・県の役員づくりを強化するために、役員研修大学・支部長研修会・グループ長研修会など一貫した研修の体系化を図ります。
- ② 同友会の学びを自社経営に活かす企業づくりの成果を検証するために、「不離一体シート」を活用します。

2500名以上の仲間づくり運動の推進

2019年度末までに、2500名の会員を達成しましょう

- ① 例会・ブロック会・知る会・各委員会等、あらゆる活動にゲストを誘いましょう。
- ② 会員の20%以上の会員が、新会員入会に関わっている状況をつくりましょう。

1 広報・情報化活動の強化

① 会員はもとより、他団体や産官学金マスコミなどへ同友会運動を積極的に発信し、地域への認知度向上を図り、会員増強に繋がります。

2 組織の整備

① 同友会運動を推進するために組織検討の提起に基づき、各部門が主体的に議論を深め、組織の整備に取り組みしましょう。

3 財政の健全化

① 各活動の検証を行い、時代環境に合った活動の取捨選択を図って会員を増やし、運動が持続発展する盤石な財務体質を構築します。

4 事務局機能強化と職場環境の改善

① 同友会運動を会員と共に推進するパートナーとして、また会員に当てにされる事務局員と

なるために、スキルアップと人間性向上を図ります。

5 空白地域に同友会をつくる

① 同友会理念を実践する企業を県内全ての地域へ広めるために、各地区会が中心となり空白地域に新しい支部づくりを計画的に進めましょう。

② 人口10万人の地域に100名規模の新支部づくりをめざします。

6 中期ビジョンを作成する

① リーダーが変わっても方針がぶれない継続した運動とするために、福岡同友会全県ビジョンに沿って、地区・支部でも中期ビジョンを作成し、運動の成果と到達点の確認をしましょう。

2018年度役員名簿 (敬称略)

役職	氏名	事業所名
代表理事	田浦 通	㈱シティーライン
	樋口 康治	㈱アイル
	新内 一秋	㈱筑紫工業
副代表理事	貞池 龍彦	㈱アビリティ・キュー
	坂本 敏弘	計測検査㈱
	光本智恵子	㈱すこやか工房
	納富 輝子	㈱一柳
専務理事	秋吉 博文	秋吉博文公認会計士税理士事務所
	川畑 義行	(一社)福岡県中小企業家同友会
地区会長	福岡 高谷 幸一	㈱ユニティ
	北九州 市丸 皓士	㈱TSS
	筑豊 有田 栄公	有田電器情報システム㈱
室長	県南 濱田 満広	㈱濱田設備
	総務財政 中野 正志	㈱福岡リロケーション
	政策金融 玉井 輝大	㈱abc機会社
相談役	景況分析 新内 一秋	㈱筑紫工業
	役員研修 渡木 繁	㈱コスモライフ
青年部連絡会 代表	中山 英敬	㈱紀之国屋
	村田 一光	㈱ヒューマンライフ
委員長	経営労働 山口 明子	ASAP動物病院
	共同求人 濱田 浩光	貼りアップ㈱
	共育 光本智恵子	㈱すこやか工房
	企業連携推進 伊藤 裕一	伊藤建築設計事務所
	環境経営 井上 真一	㈱大匠建設
	バリアフリー 牧本 貴宏	㈱まきもと 向日葵グループ
	国際交流 鹿島 克介	㈱カシマ製作所
	女性部 笠置 重子	㈱タイセイ
	同友すばる 末竹 哲	㈱日研
	ソーシャルビジネス 大串 和義	大串公認会計士・税理士事務所
福岡	経営者フォーラム 向井 徹	キャリアバス㈱
	役員選考 森 茂博	和薪工業㈱
	地区副会長 中島 克海	㈱グッド・サポート
地区幹事長 齋藤 智也	セビア商事㈱	

役職	氏名	事業所名
北九州	地区副会長 松木 祥也	㈱松木工務店
	地区幹事長 小林 正広	㈱上津役製作所
筑豊	地区副会長 鶴田 和寿	コースイ㈱
	地区幹事長 原田 正浩	㈱マシサービス社
県南	地区副会長 林田 浩暢	㈱若竹屋酒造場
	地区副会長 川村 芳子	㈱萃香園
支部長	地区幹事長 金川 利子	リビングT&S
	東支部 明石 勝善	㈱きねや
	福博支部 林 直樹	輝翔法律事務所
	博多支部 古川 淳一	㈱ニッコー・ネット
	中央支部 足立 知弘	いちご会計事務所
	西支部 多比良 修	多比良修務管理事務所
	南支部 貞兼 朋記	㈱ルックルック
	筑紫支部 淀川 洋子	ナガタ建設㈱イェノコト
	福友支部 内田 剛玄	㈱アクセス
	青年支部 大丸 拓郎	㈱大丸製作所
	玄海支部 黒木 幸一	㈱ケース・コーポレーション
	かすや支部 釘田 直樹	くぎた経営労務事務所
	糸島支部 小津 智一	㈱OZ Company
	北九州支部 宮本 成樹	㈱サークル・アイ
	ひびき支部 御手洗秀樹	㈱九州電機精機
	のおがた支部 金子 順次	ライジング迎賓館
	飯塚支部 重松 和孝	㈱コンサルティングオフィス
	田川支部 堀 弘道	㈱さくら・タルライフ
	久留米支部 緒方 徹	㈱緒方板金
	大牟田支部 金森 信吾	㈱パンド・ミー
有明支部 竹下 政敏	竹下産業㈱	
りょうちく支部 松尾 勝彦	写真の松屋㈱	
事務局長 坂田いずみ	(一社)福岡県中小企業家同友会	
監事	平石 勝之	Gcomホールディングス㈱
	有馬 進	㈱不動産
	山本 修二	福岡会計事務所

第56回定期総会 表彰 (入会順・敬称略)

会歴40年に達した会員(6名)

遠藤 市郎	(有)遠藤和洋紙店	中央
圓藤 泰久	㈱福岡ニット	筑紫

小松 公範	㈱コマツ設計事務所	博多
宇都宮英人	宇都宮法律事務所	南

黒田 剛	㈱総本家黒田家	大牟田
谷口 昭徳	広徳輸送(株)	東

会歴30年に達した会員(21名)

藤河 次宏	拓新産業㈱	南
北島 章雄	㈱大見鉄螺	玄海
吉田 重信	伊藤無線㈱	福博
福島 道雄	(有)アド・フクシマ	北九州
佐々井久博	佐佐井㈱	北九州
重富敢二郎	㈱重富印刷	糸島
谷 弥寿彦	㈱谷弥	のおがた

大江 義夫	大江建築設計事務所	福友
田浦 通	㈱シティーライン	かすや
成清 一誠	㈱経保プランニング	中央
星野 達弘	㈱オークラ	南
斉藤 修一	直方自動車商事㈱	西
松岡 順子	リパティスカッシュコート	中央
鐘川喜久治	ベルテクネ㈱	西

橋本 征勇	㈱橋本生花	南
江副 裕紀	(有)江副商店	玄海
上本 昭南	㈱上本アルミ建材	のおがた
原田 和明	(有)アイデジタル	ひびき
久賀 知治	(有)山門平和園	大牟田
古谷 幸一	(有)ファイナシヤルエステートサービス	福博
高橋 寿明	(有)南部プロパン	福友

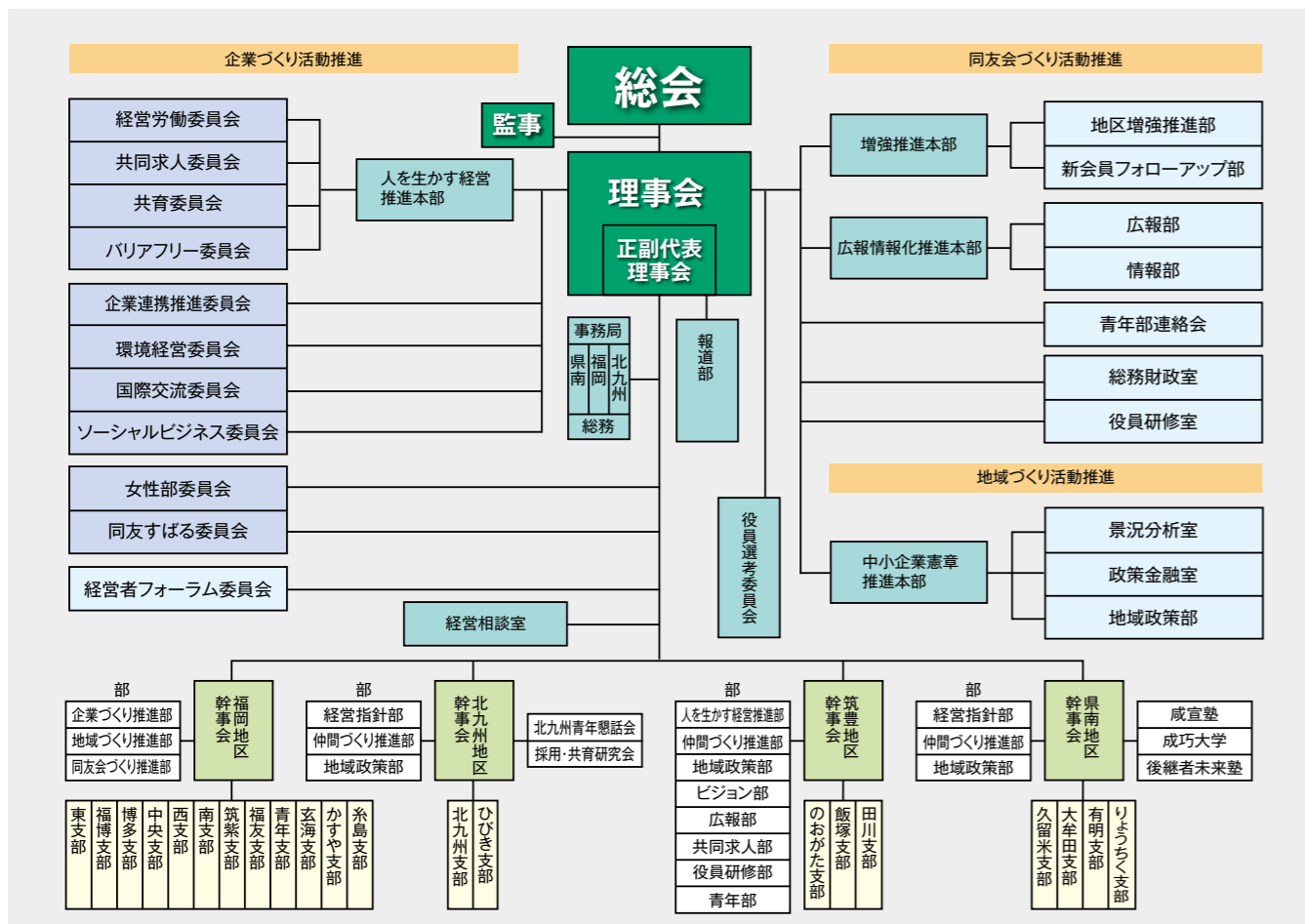
会歴20年に達した会員(34名)

成吉 秀夫	(有)なりよし	福友
安部 炳鎬	㈱宜翔物産	福友
荒牧 錠司	(有)サンケイフーズ	玄海
内藤 泰司	㈱福商	東
半田 正	はんだ歯科医院	糸島
園田 嘉生	園田税務会計事務所	有明
竹内 大平	(有)テイクビデオ	玄海
三輪 公平	I・W・A・M・I(株)	中央
時枝 憲司	㈱コムプラエージェント	西
島田 茂	㈱島田電気商会	博多
藤原 順一	㈱A D企画印刷	中央
林田 浩暢	㈱若竹屋酒造場	りょうちく

有留 秀泰	(医)ありどめ内科クリニック	ひびき
鶴田 和寿	コースイ㈱	飯塚
大塚 正常	セブンガス㈱	玄海
執行 武治	(有)執行製作所	福友
吉積 良記	(有)吉積良花饜製造元	玄海
池田 宏子	池田社会保険労務士事務所	西
中山 英敬	㈱ヒューマンライフ	南
箱田紀一郎	(有)リガロ	博多
福湯 英雄	(有)福湯すし	有明
徳永 忠則	㈱リライエステート	玄海
碓 宏介	社団法人 職人職人センター	西
森 幹夫	(有)オフィス森	博多

笠 博文	日農工業㈱	福博
小久保喜道	K・Sインシュアランス	福博
岩崎 徳男	東洋警備保障㈱	福博
中村 吉孝	福岡輝栄会病院	玄海
津崎 徹一	津崎徹一法律事務所	博多
岩田日出人	(有)うえすたん	かすや
金川 利子	リビングT&S	久留米
山下 登	(有)山下工務店	中央
木村 悟	こめ専科	博多
森 悠紀	ちきり屋	大牟田

2018年度組織図



会歴40年の表彰を受ける遠藤市郎氏



会歴30年の表彰を受ける吉田重信氏



会歴20年の表彰を受ける半田正氏

増強表彰

支部表彰(会員増強最高の支部)

入会数(支部で紹介いただいた新会員数)	福友支部	58名
入会率(入会数を期首会員数で割った数)	のおがた支部	33%
純増数(支部で期首より増えた会員数)	福友支部	28名
純増率(純増数を期首会員数で割った数)	糸島支部	21%

個人表彰 6名(年間5名以上の新会員の入会推薦をした会員の皆様)

氏名	事業所名	所属支部	推薦数
納富 輝子	(有)一柳	福友	16
井上 真一	㈱大匠建設	博多	9
安永 浩之	やすなが企画(有)	のおがた	6
有馬 進	㈱不動産	北九州	5
金森 信吾	(有)パンド・ミー	大牟田	5
古川 淳一	(有)ニッコー・ネット	博多	5

10 火 16:00～18:00 ソーシャルビジネス委員会 7月例会

ピンチをチャンスに変える方法

～借金をバネに弱みを強みに変える起業戦略～そして社会福祉への挑戦～

- 福岡同友会会議室 福岡市博多区吉塚本町9-15 11階 ☎092-686-1234
- 白水ルリ子氏 株式会社 晴天 代表取締役(社会福祉法人 宝満福祉会 理事長) 人材不足、働き方改革が日本中で議論となっています。自社での人材不足もあれば、属する業界での人材不足もあります。どう取り組んでいくべきか。社員とともに、社員の家族とともに、地域とともに、その枠は日本国内にとどまらず、世界とともに。「世界で一番たくさんの方がどうを集めよう」をスローガンに掲げて行動する白水氏。すべての目標が社会課題の解決に繋がっていく、それを実感し、意識改革・行動改革をもたらす例会となります。

13 金 18:30～21:00 久留米支部 7月例会

事業継承を体験して

- みんくる会議室 久留米市六ツ門町3-11 くるめりあ六ツ門6階 ☎0942-30-9067
- 鍵田 康策氏 株式会社大丸眼鏡商会 代表取締役社長 久留米支部 7月例会は支部会員の鍵田さんによる事業継承の体験報告です。継承の状況や社員との関係構築、その後の変化などについてお話しいただきます。今後、経営者となる後継者側の疑問や不安を先輩方である現経営者の方々との討論を通じ少しでも緩和・解消し、また、現経営者においては後継者側の意見を聞くことによって、下の世代の不安や気持ちを取り入れ、自身の継承について学ぶ例会です。

県南会場 あすなろ塾 7月14日(土) 9:30～17:30

- 県南地区センター 久留米市西町1367-1-2階 ☎0942-33-3355

17 火 18:30～21:00 博多支部 7月例会

業務のブラッシュアップで人材確保

～乗り遅れるな!これが中小企業の働き方改革だ!～

- 天神ビル11階 福岡市中央区天神2-12-1 11階 ☎0120-323-920
- 坪田 晋氏 坪田社会保険労務士事務所 代表者 博多支部

17 火 18:30～21:00 玄海支部 7月例会

中小企業の実践的M&A戦略

- 都久志会館 福岡市中央区天神4-8-10 ☎092-741-3335
- 島田 健作氏 株式会社ホワイトクロス 代表取締役

通常の企業売買から事業継承、事業存続に絡めたM&Aなど事例の紹介を交え、中小企業に於けるM&Aの多様性を学びます。

17 火 18:30～21:00 糸島支部 7月例会

V字回復のカギはここだった!!

～乗り遅れるな!これが中小企業の働き方改革だ!～

- 前原公民館 糸島市前原東2-2-5 ☎092-322-2481
- 井上 真一氏 株式会社大匠建設 代表取締役 博多支部

リーマンショックで大きく売り上げが落ち、債務超過の状況の中で2011年同友会に入会。経営方針、環境経営、共同求人、共有を学び実践してきました。エコアクション21を取得し、同友エコ大賞受賞をきっかけにエネルギーシフトを学び、社屋を九州初のCLT工法で新築するなど、危機的状況から環境経営でV字回復し、更なる成長を遂げています。

17 火 18:30～21:00 北九州支部 7月例会

9年連続顧客満足度No.1企業から学ぶビジネスモデル

- コムシティ大会議室 北九州市八幡西区黒崎3-15-3 ☎093-641-9360
- 瀧 けい子氏 株式会社スターフライヤー CS推進部担当部長

18 水 18:00～21:00 東支部 7月例会

会社余命2年からの生還 ～独自の戦略で時流を生き抜く～

- ウィズ・ザ・スタイル福岡 福岡市博多区博多駅南1-9-18 ☎092-433-3900
- 竹田 修司氏 有限会社ウィナー 代表取締役 東支部

様々な困難に直面し、「会社余命2年」の現実からいかにして生還できたのか。福岡の飲食業でいち早くインバウンドに特化した戦略と、記憶に残るキラコンテンツメニュー開発で、現在は3店舗5億円を叩き出す経営の仕組みについて報告していきます。

19 木 18:30～21:00 ひびき支部 7月例会

納涼会員交流例会

- ザ・ハウス・オブ・リンドマール 北九州市八幡西区東神原町2-23 ☎093-642-3659

7月の行事案内

19 木 19:00～21:00 青年支部 7月例会

幾多の試練を乗り越えてきた経営者の精神力

- Dress(ドレス) 福岡市中央区西中洲11-21 ボナバサージュ2F ☎092-725-7758
- 金光 孝男氏 株式会社タグイト 代表取締役 南支部

19 木 18:00～20:30 福博支部 7月例会

先進企業に学ぶ働き方改革

- アクア博多 福岡市博多区中洲5-3-8 ☎092-733-1310
- 小津 智一氏 株式会社OZ Company 代表取締役 糸島支部

今は働き方改革先進企業のOZ Companyですが、初めて受託した企業内保育園では、サービス残業・仕事の属人化・チームワークの乱れにより保育スタッフの離職率がなんと44%。この状況から現在に至るまでの試行錯誤の取り組みを語っていただきます。

19 木 18:30～21:00 中央支部 7月例会

事業承継、その先にあるもの ～苦難の中から見出した新たな光～

- 天神ビル11階11号会議室 福岡市中央区天神2-12-1 ☎0120-323-920
- 縄田 泰三氏 株式会社エム・エス・ビー 代表取締役会長 中央支部

後継者を見付け育てることが出来ずに廃業する会社が見受けられる昨今において、後継者としての確かな人物を選び育てることは、将来への存続の道を模索する中小企業家にとって喫緊の課題です。縄田氏の報告を聴き、自社の事業承継のあるべき形について考えます。

19 木 18:30～21:00 西支部・飯塚支部 合同7月例会

変化に対応できる企業づくり!

～生き残るためにやるべき事と中小企業のBCP～

- 福岡ビル9階会議室 福岡市中央区天神1-11-17 ☎092-716-8021
- 重松 和孝氏 有限会社コンサルテイングオフィス 代表取締役社長 飯塚支部

大手保険会社の合併、金融庁の大方針転換など、中小保険代理店が存続危機に立たされる中、M&AやBCPへの取り組みにより乗り越えて成長してきた経営体験報告を、飯塚支部長重松氏にいただき、変化に対応できる企業づくりについて学びます。

19 木 18:20～20:50 筑紫支部 7月例会

自社の強みを生かす事業承継(仮)

～あなたは何を継ごう。継がせようと思いませんか?～

- 筑紫野市生涯学習センター 筑紫野市二日市南1-9-3 ☎092-918-3535
- 牧田 尚起氏 油機エンジニアリング株式会社 取締役社長 筑紫支部

「受け身の人生から一転。継ぎたいものは、自社の付加価値。」筑紫支部2018年度最初の例会は事業承継がテーマです。油機エンジニアリング(株)の牧田尚起さんに報告していただきます。

19 木 18:30～21:00 かすや支部 7月例会

人材育成と社員を活かす為のコミュニケーション

～力を引き出す評価制度・個人面談～

- 粕屋町商工会館 糟屋郡粕屋町若宮2-3-1 ☎092-938-2456
- 田中 宏之氏 九州SSK株式会社 専務取締役 かすや支部

かすや支部7月例会は人材育成がテーマです。九州SSK(株)の田中宏之さんから、自社で行っている評価制度や社員とのコミュニケーションについてご報告いただきます。社員との信頼を高め、同業他社に負けない人材を育成していくためのヒントが得られます。

19 木 18:00～21:00 りょうちく支部 7月例会

若者の都会流失を防ぐために、学校が望むこと、企業が準備すべきこと

- 泰泉閣 福岡県朝倉市杷木志波20 ☎0946-62-1140
- 報告者 りょうちく地域内の高校の就職担当の先生
- ファシリテーター 平位 秀敏氏 うきは市商工会事務局長

りょうちく支部の環境を見ると、若者の都会への流失が大きな課題です。若者の都会への流失を防ぐためにも雇用を作ることが求められます。流失を防がないと地域の未来のお客さんがいなくなる事になります。同友会の会員として何ができるのか?若者が何を考えているのか?若者を雇用する事で準備しないといけない事は何か?若者の事を一番知る地元高校の先生にお話しいただきます。

19 木 18:30～21:00 福友支部 7月例会

経営者の幸せとは ～人生における様々な運動と経営から学んだこと～

- ウィズ・ザ・スタイル福岡 福岡市博多区博多駅南1-9-18 ☎092-433-3900
- 渡木 繁氏 有限会社コスモライフ 取締役会長 福友支部

20 金 18:00～20:00 田川支部 7月例会

地域における信用金庫とその役割。

若き中小企業経営者に求められる経営力とは

～地域金融機関とともにめざす地域中小企業の在り方～

- たがわ情報センター 田川市番田町2-1 ☎0947-49-3220
- 市岡 敏生氏 田川信用金庫 理事長

地域金融機関であり当会と業務提携を結んでいる田川信用金庫理事長と支店長の皆様を講師としてゲストとしてお迎えし、地域金融機関とともにめざす地域中小企業の在り方を学びます。

20 金 19:00～21:00 有明支部 7月例会

懇親例会

- 萃香園ホテル 久留米市櫛原町87 ☎0942-35-5351

7月例会は会員のための懇親例会です。近況報告を行い支部会員同士の親睦を深めます。今後の例会等行事参加に繋げることを目的に開催いたします。

筑豊会場 あすなろ塾 7月21日(土) 9:30～18:00

- 筑豊ハイツ 飯塚市仁保8-30 ☎0948-82-0240

24 火 18:30～21:00 南支部 7月例会

勇気と行動力をもつタフガイ

～従来の在り方を認めつつ、更なる変革を成し遂げていくには～

- 天神ビル11階 福岡市中央区天神2-12-1 ☎092-721-3111
- 栗山 浩氏 株式会社アーキテックス 代表取締役 南支部

同友会で自立型企業について学んだ栗山氏。大手ゼネコンのマンション工事建築下請け事業から戸建て事業(元請け)にシフトチェンジすることを決意されます。自社事業を見直す過程で体験した成功・失敗・苦労について報告いただきます。

お申し込み、お問合せは、e.doyu もしくは、同友会事務局までお願いします。お知り合いの方を誘って、是非ご参加ください。

2018年度(第1回) 理事会議事録

日時 2018年5月30日(水) 14:30～17:30 出席 45名(出席率70.3%)
会場 福岡県中小企業振興センター202会議室 議長 光本智恵子(副代表理事)

報告事項

1 この1ヶ月の活動のまとめ
「PRESIDENT」で同友会が1年間、紹介される旨報告された。

2 会員企業動向

表彰など

- 平成30年 春の褒章
黄綬褒章 業務精励(造園工事業)
(株)小山千緑園 小山 徹志氏(西支部)

- 2018年度版 中小企業白書 事例紹介
IT活用による労働生産性の向上
エコー電子工業(株) 松本 清人氏(玄海支部)
<事例内容>
経営層が一丸となって率先利用することで情報システム利用を浸透させ業務の見える化と業績向上を実現した企業

- 福岡ベンチャーアワード2018 特別賞
(FVMでプレゼンテーションをした企業のうち、優れたビジネスプランを有し、今後の成長が期待できるもの)
(株)シー・エフ・ピー 花田 博道氏(南支部)

24 火 18:30～21:00 FAST7月例会

販路拡大 ■福岡県中小企業振興センター 福岡市博多区吉塚本町9-15 ☎092-622-0011
■森 武志氏 よろず支援拠点 コーディネーター

24 火 18:30～21:00 のおがた支部 7月例会

社員一丸となって100年企業を目指す

～地域密着型宝飾店の歩みとこれからの取り組み～

- 直方市中央公民館 直方市津田町7-20 ☎0949-25-2241
- 赤坂 一成氏 株式会社コクラヤ時計店 代表取締役社長 のおがた支部

日本全体が好景気に湧いた余波が残っていた1991年に、宝飾市場の規模は3兆円を超えていました。しかし、バブル崩壊後はぜいたく品とされるジュエリーの需要を冷や込ませ、市場は縮小を余儀なくされた結果、現在の需要はピーク時の3分の1以下に過ぎません。そのような逆風の中で、1940年に設立された「株式会社コクラヤ時計店」を100年企業とするために、社員一丸となった集客・売上の仕組み作りを行っています。

24 火 18:30～20:30 国際交流委員会 &勉強会

海外展開のリスクおよび事例と対策

- NBS株式会社 福岡市博多区奈良屋町5-10 ☎092-263-8833
- 福田 俊英氏 独立行政法人 中小企業基盤整備機構九州本部 国際化支援アドバイザー

25 水 18:00～21:00 2018年度 増強研修会

- 福岡県中小企業振興センター 福岡市博多区吉塚本町9-15 ☎092-622-0011

第148回 新会員フォローアップセミナー

7月26日(木) 18:00～21:00 福岡同友会会議室
福岡市博多区吉塚本町9-15-11F

27 金 18:30～21:00 女性部委員会 7月例会

企業訪問例会

- 寄能 寛子氏 株式会社アビリティィ・キュー 後継者 (博多支部)

福岡会場 あすなろ塾 7月28日(土) 9:15～18:00

- 福岡県中小企業振興センター 福岡市博多区吉塚本町9-15 ☎092-622-0011

28 土 16:00～ 大牟田支部 7月例会

大牟田大蛇山まつり1万人の総踊り

- 第一カンカンビル集合 大牟田市本町2-7-13



博多祇園山笠

撮影・文／株式会社ココスイメージ
富谷 正弘（玄海支部）



7月14日に行われる流昇き

突然の禁止

明治5(1872)年、封建制を打破する意図で明治政府によって「博多松囃子」と共に山笠は突然禁止されます。明治8(1875)年だけ許可が下りましたが、許可が下りたのが6月13日の夕方で追い山まで間に合わないため、人形に浴衣を着せただけの簡素な山笠「ゆかた山」が作られ、翌年より再び禁止されました。

明治16(1883)年には11年ぶりの本格的な山笠が復興したものの、明治31(1898)年に福岡県知事が山笠行事の中止を提議します。中止提議理由に山笠が電線を切断する事故が相次いだことが含まれていたため、実際に運行する3メートル程の「昇き山」と、飾っておくだけの「飾り山」に分化することとなりました。また、明治時代に西洋文化が入ったことにより、昇き手の出で立ちが締めみだけの裸に近いものだったことが野蠻に映った事も中止提議理由にあったため、町側が知恵を絞って「お尻丸出しが悪いなら法被を着ればよい」と全員が水法被を着用して切り抜けたのでした。その後、昭和20(1945)年福岡大空襲で中止され、昭和23(1948)年に山笠が復活し現在に至ります。

流の再編

昭和41(1965)年2月1日、博多地区の町界町名整理が実施されました。この町界町名整理で博多部は大混乱に陥ります。歴史的にも由緒ある土居流がこの煽りを受けて解散するも、土居流の有志が「土居流保存会」を作って流の歴史を継続。しかし、伝統を誇った呉服町流は解散し他の流に分散したのでした。この町界町名整理で出来た新しい「町境」を加味して、東町流を中心に東流、西町流を中心に西流が誕生。大黒流、恵比須流、土居流(保存会)は旧町単位で参加するようになりました。そして現在の『七流(しちながれ)』(西流・千代流・恵比須流・土居流・大黒流・東流・中洲流)となりました。(順番は、平成30年度の番号順)



「山崩し」と言われる山笠の取りはずし作業

追い山の起源

かつては町ごとに高さ15メートル前後の飾り山の華美を競いながら練り歩いていました。江戸時代、一説には貞享4(1687)年正月、豎町(恵比須流)に嫁いだ土居町(土居流)の花嫁が、花婿ともども里帰りしたところ、土居町の若者が余興として花婿に桶をかぶせるなどしたため、豎町の若者が怒って押しかけて一触即発に。この場合は何とか収まったものの、夏のお祭りの際、恨みが残っていた石堂流(現在の恵比須流)が東長寺で昼飯を食べていた土居流を追い越そうと走り出しました。土居流も負けてはならじと走り、2つの流が抜きつ抜かれつの競争となり、スピードを競い合う「追い山」が始まったとされています。



追い山が終わると「山揺すり」をしながら祝いでたを唄う

博多祇園山笠スケジュール

7月 1日(早朝)	しめ 注連下ろし
7月 1日(朝)	ご神入れ
7月 1日(夕方)	当番町お汐井とり <small>しおい</small>
7月 9日(夕方)	全流お汐井とり
7月 10日(夕方)	流昇き
7月 11日(早朝)	朝山笠
7月 11日(夕方)	他流昇き
7月 12日(午後3時59分)	追い山笠ならし
7月 13日(午後3時30分)	集団山見せ
7月 14日(夕方)	流昇き
7月 15日(午前4時59分)	追い山笠

一般社団法人 福岡県中小企業家同友会
「月刊 同友」編集部

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号
福岡県中小企業振興センタービル11階
TEL:092-686-1234 FAX:092-686-1230

北九州地区センター

〒802-0001 北九州市小倉北区浅野1-2-39
クルーズ浅野ビル 808号
TEL:093-551-3111 FAX:093-551-3344

県南地区センター

〒830-0038 久留米市西町1367-1
祥栄ビル2階
TEL:0942-33-3355 FAX:0942-33-3366

<http://www.fukuoka.doyu.jp/>

福岡同友会

検索